


錯覚の中で生きている

私たち人間の目で見えているもの
 身体や意識で感じているものはすべて
 錯覚なのかも知れない... とふと思ふ時があります。

例えば

「色は全然ちがう」

人間の目に見える色は 
 他の生物には全然違う色に
 見えるかも知れない。

「時間は逆に動いている」

通常 生まれ → 未来に向かて時間は
 進んでいくと感じているが
 ひもといたらこれも錯覚で 実際は
 死んだ日 → 生まれる日に時間は進んで
 いるのかもしれない。

「台本通りに生きている」

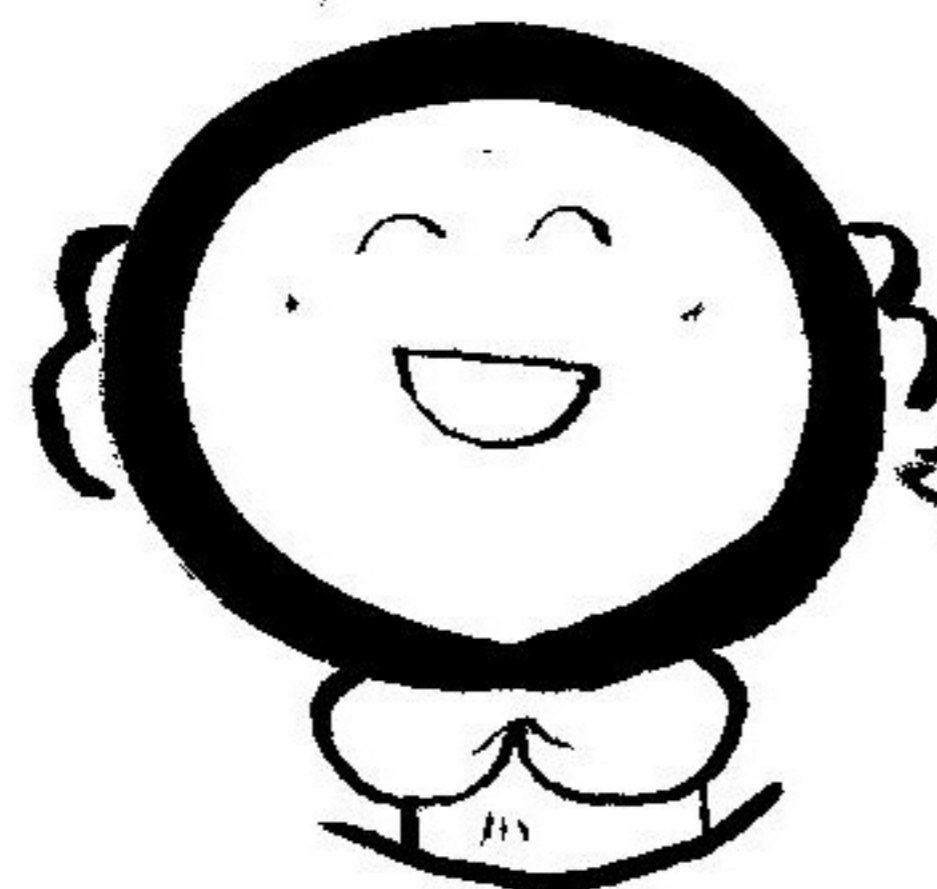
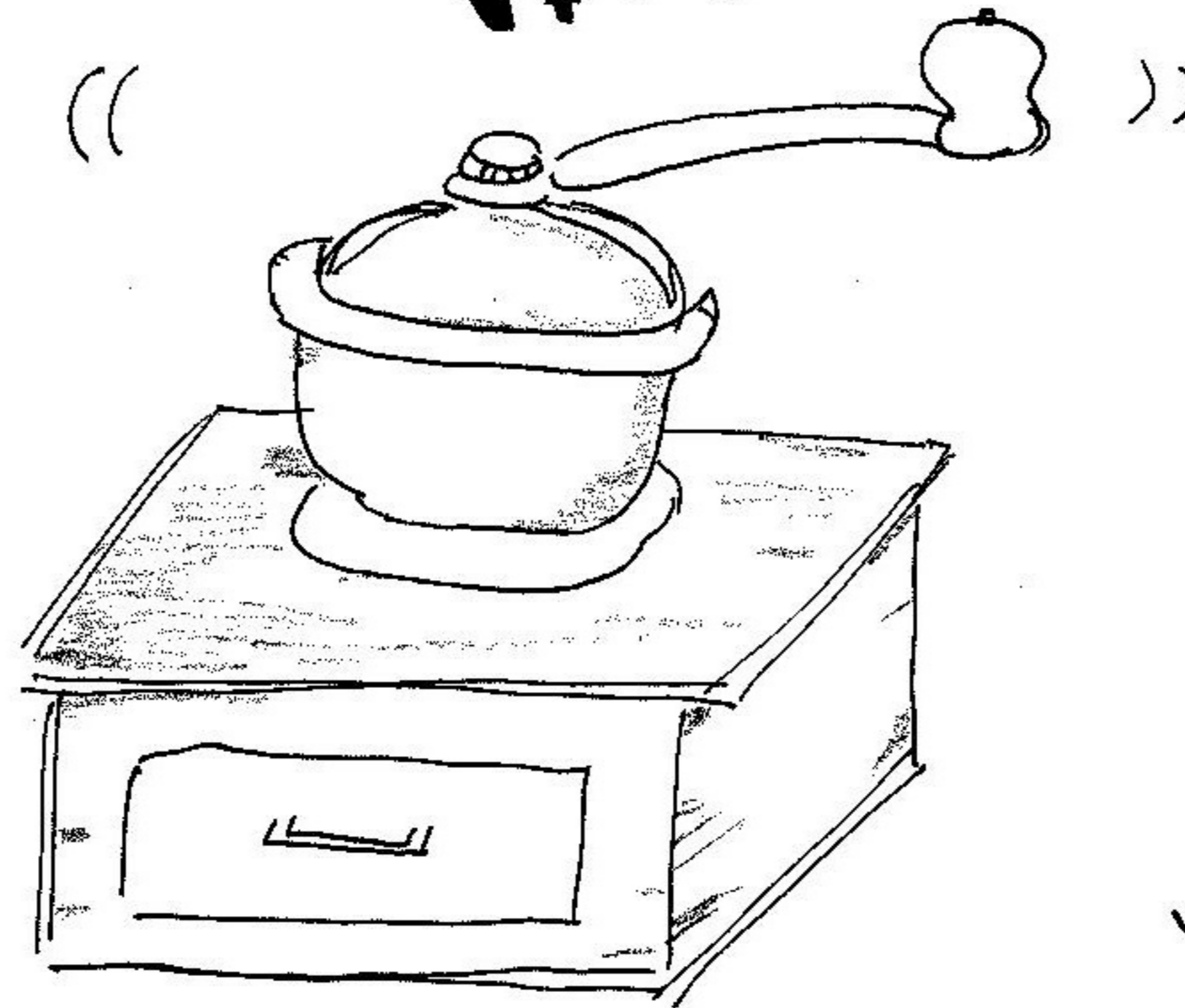
明日のことは分からない、もちろん未来も...
 と思っているがこれも錯覚で 実際は
 自分が作ってきた(生まれる前) 台本通りに
 生きているのかも知れない。 ☺

おせ蔵さん だよ!

2016年5月

ソニックジャパン
 金沢支店 支店長
 (社)生命保険
 ファイナンシャルアドバイザー協会 (JAIFA)
 本部副会長 石川県協会会長
 鳥越介順 (とりごえ かいじゆん)

ゆっく
 りゅっく



「あえてゆっくやる
 ときは呼吸も
 ゆっく深くすると
 さらに充実した
 ひとときになるでしょう」

時間との付き合い方

世の中の多くの人が 時間に追われ
 生きているようです。
 いつの時代から そうなったのか...
 よく考えみると「時間に追われる」とは
 変な言葉である。
 生きているものすべての中で人間だけだろう。
 しかも先進国の人だけだろう。
 そう考える中、私は「時間に追われないぞ!」
 とちょっと抵抗しています。それは

コ-ヒ-好きの私は 自宅でコ-ヒ-をたてる
 時にコ-ヒ-ミルを挽くのですが
 その時はひとつの作業をサッとこなす
 ということはせずに 楽しんで
 あえて ゆっく ゆっく 回すようにしています。

「あえてゆっくやる」というのが なんとなく
 「私は時間に追われないぞ! 人生を楽しんで生きるぞ!」
 と宣言しているひとときなんです。
 みなさんの人生の中で
 「あえてゆっくやる」は ありますか?

ありがと
 ありがと

